2026年度スタートカリキュラム　【芦田中学校区　育成する力】問題発見・解決能力、対話力、思いやる力　福山市立有磨小学校

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学期	Ⅰ			Ⅱ						Ⅲ		

育ってほしい児童の姿

【入学時の児童の姿】

【学校教育目標】豊かな心をもち、主体的に生きる　有磨っ子を育てる～「よく聴き　進んで学ぶ子」「なかよく助け合う子」「最後までやりぬく子」
【研究主題】　自ら考え、伝え合いながら学びに向かう児童の育成

【小学校１年生の終わりまでに育ってほしい児童の姿】

生活する力（●）
・小学校生活への期待感をもっている。
・時間で動く生活に慣れていない。

・学校生活に必要な約束やルールを知り、身の回りのことを自分でやろうとする。
①自分の持ち物を管理する。
名前、印をつけ自分の持ち物がわかる。
持ち物を決まった場所に片付ける。
②時間を意識して学校生活を送る。

・学校生活のリズムが身に付き、約束やルールを守ろうとする。
・大きな声であいさつをする。
・自分のめあてを考え、それを守ろうとする。
・トイレのスリッパや、下駄箱の靴を進んで整えようとする。

・これまでお世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えようとする。
・相手の目を見てあいさつをする。

・相手の気持ちや考えを最後まで聞くことができる。

集団生活力（■）
・新しい友達との関係づくりに戸惑いを感じている。
・自分の思いはもっているが、表現が十分でなく、トラブルになることがある。

・新しく出会う先生や友達と進んで関わろうとする。
（あいさつ・自己紹介・あそび　など）
・友達や身の回りの動植物の命を大切にしようとする。

・相手の思いに気づき、児童同士で折り合いをつけようとする。
（自分のしたいことを話せる。）

・友達のがんばりを認めたり、よさを見つけたりする。
（したことの理由が言える。）

・伝え合い、互いに認め合う。
（どうすればよかったかを考え言える。）

・自分の考えをもつことができる。

学習する力（◆）
・小学校での学習に興味や意欲をもっている。
・語彙がやや少ない。

・知りたい、やってみたいと意欲的に取り組もうとする。
（生活科を中心とした学習）

・経験したことなどを聞いたり、みんなの前で話したりする。

・経験したことなどを隣の人と話し合ったり、文章で表現したりする。（ペア学習）

・見たことやしたことなどを班の人と話し合ったり、詳しく書いたりする。
（グループ活動）

・言葉で表現することやみんなで学習することの楽しさを知り、主体的に取り組む。

・考えを文章で表現できる。

生活科を中心とした単元構成

【小学校生活のスタート】≪学校の人やものを知りたいな≫

●わくわくどきどきを見つけよう
・入学したての自分と向き合い、得意なことなどを振り返ることで、小学校生活に期待をもち、意欲を高める。

●学校となかよくなろう
・探検を通して、施設や人に親しみ、愛着をもつ。

■友達となかよくなろう
・新しい友達、上級生、学校で働く人たちと楽しく遊んだり、困ったときなど優しく支えてもらったりする関わりを通して、学校生活で関わる人に親しみをもつ。

■みんななかよし
・人との関わりを通して、学校生活に期待をもち、意欲的に生活を送ろうとする。

■◆なつとなかよし
・夏の自然を使った遊びを通して、自然や自分の生活を考えるとともに、遊びの面白さや不思議さに気付き、みんなで楽しみながら遊びを創り出し、生活を楽しくしようとする。

≪くわしく　伝えよう≫

■◆あきだいすき
・秋の身近な自然と触れ合ったり、植物の種とりや野菜の収穫をしたりする活動を通して、秋の特徴を見つけること、四季の変化によって生活が変わっていくことに気付くとともに、それらを取り入れて自分の生活を楽しくしたりしようとする。
（ワークシート）

≪ありがとうを　伝えよう≫

■◆ふゆだいすき
・お正月遊びや風を利用した遊び、影遊びを知り、冬に対する親しみをもつことができる。
・お世話になった人（上級生や地域の方）や新１年生に感謝の気持ちを伝えようとする。
○新１年生との交流会
「ものの名まえ」（国語）
○昔の遊びを楽しむ会（生活）
○六送会に向けて（学活）

指導上の配慮事項

・幼児期に親しんだ活動を取り入れるなど、学びにつながる環境づくりをする。
（スモールステップ、肯定的評価）
・時間を守って行動する生活に慣れさせる。（3分前放送、事前の声かけ）
・新しく出会う友達との関係を作る。（休憩時の全員遊び、朝タイムでの歌や遊び）
・児童の話をしっかり聞いて思いを受け止める。
・園児との交流活動を仕組み、一緒に活動できる楽しさを味わわせる。
・交流活動で行ったことなどを発信し、共通理解を図る。（活動の様子を写真で掲示する。）

・他学年（縦わり班）の児童との関係をつくる。（「掃除」、木曜日の朝の「わくわくタイム」など）
・運動会や学習発表会などの行事への取組を通して、達成感を味わわせ、自信をもたせる。
・園児との交流活動を仕組み、園児が喜ぶ活動を考えさせる。

・新入生との交流会で、園児が入学を心待ちにしてくれるような活動を考えさせる。
・老人会の方との昔遊びの交流を通して、見守りをしてくださっていることに感謝の気持ちをもたせる。
・新１年生を迎える準備を通して、進級への喜びや自覚を持たせる。
・全職員への共通理解を図り、来年度への協力体制を整える。

連携

保幼

・参観日に授業公開し、入学後の様子を見てもらう。　・運動会参観を実施する。
・合同研修会で取組の方向性を確認する。

・生活科を中心とした交流授業を行う。（秋見つけなど）
・学習発表会参観を実施する。・合同避難訓練を行う。

・入学説明会を実施する。　・１年生と新１年生の交流活動（引き継ぎ）を行う。
・合同研修会で来年度の取組の方向性を確認する。

家庭

・学級懇談会で取組を紹介したり、学級通信等で子供たちの様子やがんばりを伝えたりする。
・音読・計算カードを毎日の宿題にして、家庭でも学習習慣を身につけることができるようにする。
・学活、保健指導で行ったことなどを保護者と共有し、家庭でも基本的生活習慣を身につけることができるようにする。

・学級通信等で、子供たちの様子やがんばりを伝え、家庭でもしっかり褒めてもらうよう啓発する。
・自分でできる仕事を見つけ、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。

・学級通信等で子供たちの成長を伝え、家庭でもしっかり認めてもらうよう伝える。
・児童が持ち帰った学習の成果物を見て、賞賛の言葉をかけてもらうよう伝える。
・入学説明会で、安心感をもってもらえるよう来年度に向けての取り組みを紹介する。